

算数オンライン塾 12月18日の問題 解説

(1) 流れの分速を【1】とすると、Bの上りの分速は【3】、静水時の分速は【4】です。Bが48分でTからSまで行ったので、ST間は【3】 \times 48=【144】

その $\frac{7}{48}$ をAは5分で下っているので、【144】 \times $\frac{7}{48}$ =【21】からAの下りの分速は

【4.2】Aの静水時の速さは【3.2】ですから、A:B=3.2:4=4:5

(答え) 4:5

(2) 修理後のAの静水時の速さは【3.2】 \times $\frac{13}{16}$ =【2.6】ですから下りは【3.6】

Aは15分流されていますから、Sから【21】+【1】 \times 15=【36】のところにおり、20分後BはTから【3】 \times 20=【60】のところにいる。2つの間の距離は

【144】-【36】-【60】=【48】

48 \div (3.6+3)=240/33=7 $\frac{3}{11}$ 分なので、20分を加えて27 $\frac{3}{11}$ 分

(答え) 27 $\frac{3}{11}$ 分

(3) Aは【144】 \div 【4.2】=34 $\frac{2}{7}$ 分でTまで行く予定でした。

しかし、【144】-【36】=【108】を【3.6】の分速で行くので

108 \div 3.6=30分ですから、50分かかるので、結果として50-34 $\frac{2}{7}$ =15 $\frac{5}{7}$ 分遅れました。

(答え) 15 $\frac{5}{7}$ 分